

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和4年 3月 15日

事業所名 児童デイサービスちやげんき

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			活動内容で1階、2階に分かれて行っています。	
	2	職員の配置数は適切である	○				利用人数に応じて職員の数も増やしています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○				玄関は車いすが入るスペースがあり、玄関、室内の階段等に手すりが設置されています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している		○			毎朝、職員でミーティングを行い振り返りを行っているが午後からパートさんが出勤するが、口頭確認になってしまうので今後改善していきたいです。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている			○		集計後、今後保護者の意見等を把握し、改善につなげていく。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している			○		事業所のホームページを使って今後公開していく。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○				今後外部の評価を取り入れて改善につなげていきたい。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○				月に一度外部講師を招いて研修しています。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○				見学時にニーズや課題確認を相談員、ご家族での会議、情報交換、などを行い、支援計画を作成しています。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○				
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○				月一度職員でミーティングを行い立案を立てています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○				固定化しないように職員でミーティングして、プログラムを決めています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○				休日、長期休みの日は平日にできない活動を考えているがコロナ禍のため外出支援は行っていない。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○				
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○				朝、のミーティングでその日の児童の様子、活動を確認をしています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○				
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○				連絡帳、個別日誌、問診表にその日の状況、支援内容を記録しています。今後は、支援の検証・改善に繋げて行く。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○				コロナ禍のため、リモートや電話でのやり取りでモニタリングを行っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている			○		ガイドラインの基本情報を周知組み合わせ支援を行えるようにします。

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○				担当者会議には児童発達支援管理責任者が出席しています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○				送迎時に担任の先生申し送りを行い確認をしています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている			○		医療ケアが必要な子は現在いませんが今後必要な場合は保護者と連携を取り体制を整えていきます。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		○			
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している			○		現在移行した利用時はありませんが、移行した場合は情報共有していけるようにします。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている			○		現在受講はしていませんが、今後機会があれば参加していきます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある			○		現在コロナの影響で交流する機会が厳しいですが、今後児童クラブと交流していきたいです。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している			○		現在コロナの影響で参加していません。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○				連絡帳、送迎時に保護者に状況、様子等を伝えていきます。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている			○		現在、ペアレントトレーニングは行っていませんが、今後講師招き保護者への講演会を行い支援していきたいです。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○				契約時に説明を行っています。また支援内容については、支援計画書をもとに説明を行っています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○				電話や送迎時に行っています。また相談内容によっては職員で話し合いをして保護者に話をしていきます。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している			○		現在開催していませんが、今後検討していきたいです。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○				苦情があった際は職員でミーティングを行い適切な対応していきます。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○				毎月配布しているしおりで活動予定をお知らせしています。
	35	個人情報に十分注意している	○				個人情報に関しては事務所のロッカーで保管しています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○				連絡帳、送迎時に情報伝達配慮しています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている			○		地域交流会や地域活動に参加していきたいです。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○			マニュアル等を作成し事業所の玄関に配置しています。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○				年に2回災害に備えて避難訓練を実施しています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○				社内研修をしています。今後は外部研修も参加していきたいです。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している			○		現在は利用児はいませんが、本人の生命や身体保護への緊急を要する場合は職員と共通認識していきます。また行った場合は保護者へ説明していきます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○				アレルギーを持っている児童には職員間で確認を行っています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している			○		ヒヤリハットがあった場合はミーティングを行い職員で共有していきます。